

2003年8月の大気大循環と世界の天候

大気大循環

北半球500 hPa 高度では、極渦は平年の位置にあり、平年より強かった。大西洋から西シベリアにかけては、波列状の偏差が分布し、アイスランド付近からヨーロッパにかけてと西シベリアはリッジ場、ロシア西部はトラフ場となった。チベットの北側から中国北東部、北日本にかけては負偏差だった。一方、太平洋から中国にかけての30°N 付近は正偏差となった。アラスカの南西海上とアラスカ付近から北アメリカの西海上にかけては負偏差が分布した。北アメリカは、アラスカ付近を除いてカナダ中部を中心に正偏差が分布した。

アジアから太平洋にかけての亜熱帯ジェットは平年より強く、日本付近では平年に比べて南寄りだった。帯状平均した北半球の亜熱帯ジェットは平年より南偏した。北半球の寒帯前線ジェットは7月に続いて明瞭だった。

熱帯の対流活動は、アジアモンスーン域では、南シナ海からフィリピン北東海上にかけて平年より活発、インドではほぼ平年並、ベンガル湾からインドシナ半島にかけては平年より不活発となった。インド洋は西部では平年並、東部では赤道付近で平年より活発、スマトラ島の南西海上では平年より不活発となった。太

平洋の ITCZ (熱帯収束帯) は、中部で平年より北寄り、平年より活発だった。アフリカ大陸は平年より活発で北寄りとなった。

SOI (南方振動指数) は0.0となった。

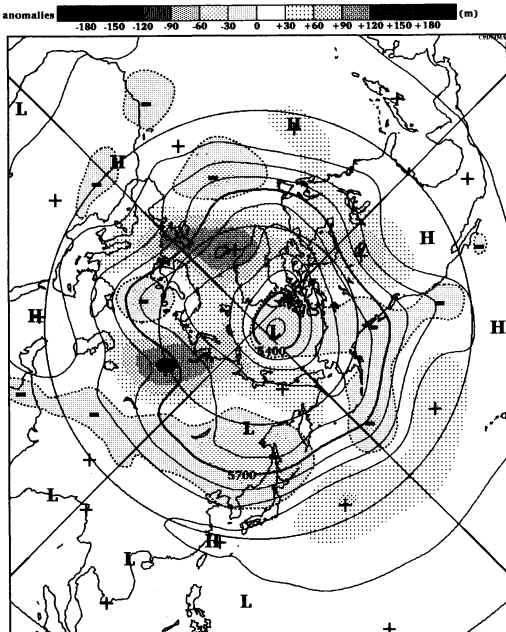
世界の天候

- ① 東日本から中国中部の多雨
- ② 中国南部の高温
- ③ マレー半島からカリマンタン島の高温
- ④ 西シベリアからロシア西部の高温
- ⑤ ロシア西部の多雨
- ⑥ ヨーロッパ中部の少雨
- ⑦ グリーンランド、ヨーロッパからサウジアラビアの高温

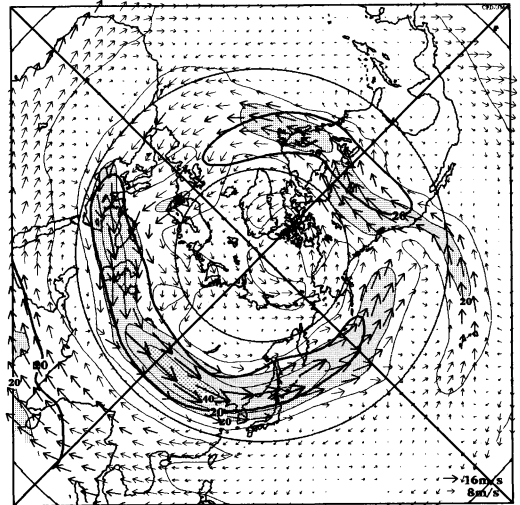
フランスでは熱波に関連する死者が1万人以上に達するなど、ヨーロッパ各地で熱波による災害が伝えられた。

- ⑧ アフリカ西部の多雨
- ⑨ 南アフリカの低温
- ⑩ 米国北西部からカナダ南西部の少雨
- ⑪ 南米北部沿岸の高温・少雨

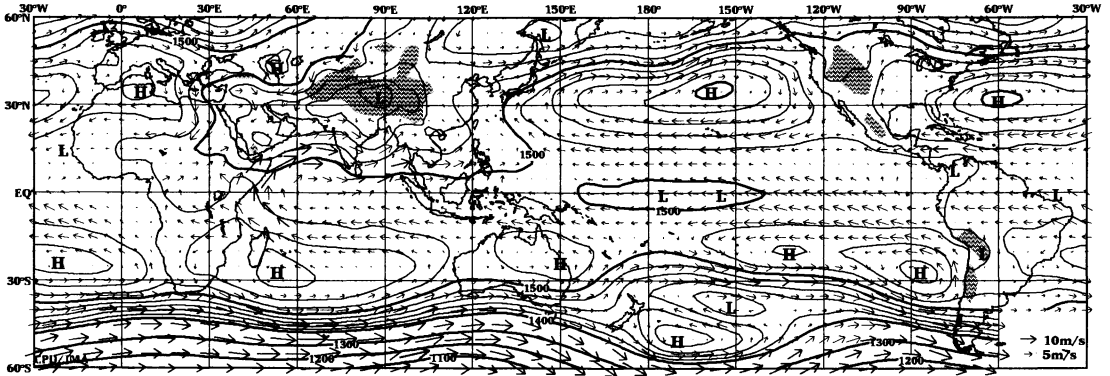
(気象庁気候・海洋気象部気候情報課 川崎 孝)



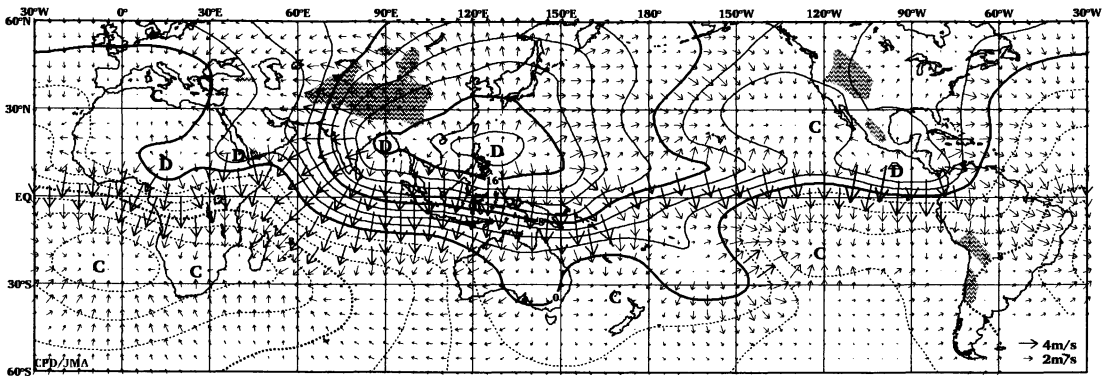
2003年8月の北半球月平均500 hPa 高度および平年偏差
等値線間隔は60 m, 偏差パターン間隔は30 m, 平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



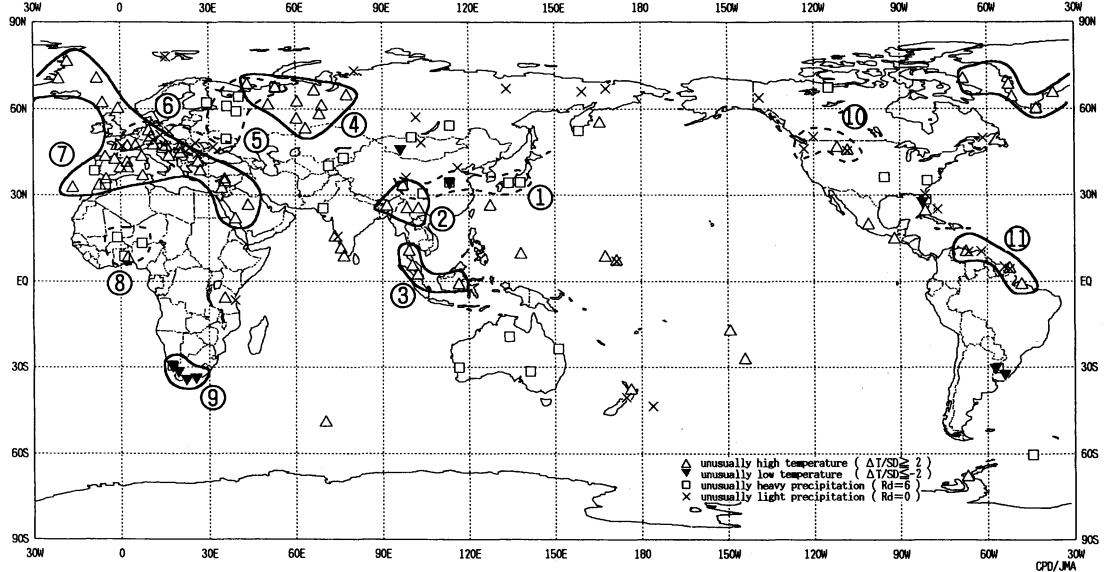
2003年8月の北半球月平均200 hPa 風速および風ベクトル
等値線間隔は10 m/s, 陰影部は20 m/s以上, 太実線で囲まれた領域は平年の20 m/s以上の領域を示す。平年値は1979~1993年のECMWF15年再解析データによる。



2003年8月の月平均850 hPa高度及び風ベクトル 等値線間隔は20 m (1400 mまでは100 m)



2003年8月の月平均200 hPa速度ポテンシャルおよび発散風ベクトル 等値線間隔は $2 \times 10^6 \text{ m}^2/\text{s}$



2003年8月の世界の異常天候分布図 △異常高温 ▼異常低温 □異常多雨 ×異常少雨
異常高温・低温は標準偏差の2倍以上, 異常多雨・少雨は降水5分位値が6および0. 図中の番号は本文中の番号と対応している.